

# FADO

56

Julho 2008

月田秀子ファド倶楽部

TSUQUIDA HIDEKO FADO CLUBE JORNAL

## 月田秀子の昨日、今日、明日…

東京で桜が咲き始めるころ、見慣れぬ水色の封筒を受け取った。青森に住むK氏からの便りだった。かれは時々、自分で選んだ曲をMDに録音して送ってきてくれた。ブルース、フォークローレ、シャンソン、タンゴ、インドの歌、もちろんファドもあり、あらゆるジャンルの歌が入っていて、それがまた私の心に響く歌ばかりだった。それらのMDは「Kコレクション」と題して、大切にあってある。便せんにぎっしり詰まった小さな文字で書かれた文章に、私は何度も救われたことを忘れてはいない。今回は、何故かワープロで印字された手紙が添えてあった。

月田さんへ

お世話になります。如何お過ごしですか。ジャーナルありがとうございました。こちらのほうはやっと春めいてきましたが寒さはまだまだ続いてスッキリしません。本業のほうは去年父が他界したためセッションやCD買ったりということではできなくなりました。FMを聴き細々とやっています。が、頼みの綱のNHKは年々ダメになるばかりで苦勞の連続です。この前は月一の大岩氏のタンゴ放送が終わってしまいWMTでもかけないかぎりNHKでラテン音楽聴くことはよいよ難しくなってきました。時代が時代といえそれまでですがニセモノが本物を隅に追いやっている現状に唯々苛立たい思いです。肝心のファドのほうですがこのころ以前ほどに関心が無くなってきました。壁です。以前はアマリアの本に出てくる人たちのレコード探し当てるとすごく嬉しかったのにこの頃はどこをつついたら良いのかサッパリ。ファド協会は宛てになりそうにないしポルトガル行く、なんて夢の夢。潮時でしょう。いままで大変お世話になり申し訳ありませんが今回を以て終わりにしたいと思います。ファドが知りたくて色々やってきたけれど情報交換できる人はN氏以外は出てこず彼が教えてくれたタンゴのファンたちほどの愛情はファドのファンには無いのかもしれない、と失望したんです。すみませんがこれで終わりです。生活のこともありますので勘弁願います。長い間お世話になりました。オブリガード！

手紙を読んで愕然とした。

なんで？どうして？なにがあったの？あの熱い思いをいっただうやってどこに封じ込めたというの？彼のところへ飛んでゆきたかった。一度も会ったことのない、兄弟のところへ。

確かに、ファドのファンは少ない。私にとっても、ファドについて情報交換できる友は、数えるほどしかいない。25年前は一人もいなかった。

ただ、ファドを通して、私はたくさんの人たちと出会い、様々な生き方のあることを教えてもらった。それぞれの苦しみ、悲しみ、そして希望へのまなごし。ファドを通して生きることを語り合った。そしてそれらのことが私のファドを大きく豊かにしてくれたと信じている。ファドの何たるかを語ることより、そのことのほうがずっと大切だと思う。ファドを感じ、生きていることを感じ、心を熱くすること。

私の周りには、「ファド」のファンというより「月田秀子」のファンが圧倒的に多い。「ファド」という歌一筋に生きてきた「月田秀子」にエールを送ってくれているのだとは思っている。

今年は、月田秀子ファド倶楽部結成15周年にあたる。5年前の10周年記念パーティの世話役を引き受けてくださった方々が今回も、記念パーティを企画してくれるという。その顔ぶれの中に京都の平井さんがいない。去年の秋、癌で帰らぬ人となった。京都の巴里野郎のマネージャーをしてらした頃は、月一回のライブの後、必ず近くの行きつけの居酒屋へ行き、ビールで乾杯したこと、ギタリストのことやら、ファドのことやら、何かにつけ相談にのってもらったことを思い出す。

思いもよらぬ悲しい知らせは、無情にも立て続けに舞い込んでくる。カフェの老舗大阪・法善寺の「ルル」のマスターが、5月16日に亡くなった。私がシャンソンを歌っていた頃からの熱烈なファンだった。いつかもう一度お店でライブをする約束も果たせなかった。「いつか」という言葉はもう使いたくない。

7月20日の「きまぐれコンサート」に向けて、久しぶりにギターを練習をしている。ポルトガルギターの飯泉氏はアルゼンチンに滞在していたことがあるという。「きまぐれコンサート」では彼にギターをサポートしてもらって何曲かアルゼンチンのフォークローレを歌う予定でいる。5分でもいいから毎日ギターに触れること、高野山の中野蜜杖和尚と約束したことだから。ひとりでもできることだから。和尚に命名されたギター芸者、ギター腕は上がらないまま、〇十歳肩で肩も上がらないとは……。

## さよなら…山健さん

4月8日、ポルトガルワイン専門の店「播磨屋」の社長、山本 健氏が、入院先の病院で逝去されたというFAXが「播磨屋」の番頭さん鍵谷氏から送られてきた。

山健さんとは、ポルトガルという当時まだ日本ではマイナーだった国を介しての同志のように思えてならない。私がポルトガルのファドに惚れ込んだように、山健さんはポルトガルのワインに惚れ込まれた。「月田さんに会わへんかったらこんな商売しとりまへんがな」と、毎回のように聴きにきて下

さった大阪・南方の「三裕の館」のライブの時、ポツンとおっしやったことを若干の責任を感じながら聞いたことを覚えている。

初めてお会いしたのは、20年ほど前、大阪の山中酒店でのライブの時、大タクの社長目次敬一氏が紹介して下さいました。目次氏は、関西学院大学在学中の新聞部の先輩ということで、目次氏が山本氏のことを「山健さん」と呼んでらしたので、いつのまにか私も親しみをこめてそう呼ばせて頂くことになった。

元朝日放送の常務のI氏と一緒に稲畑産業の稲畑社長のところへ月田のファド活動を応援するための大阪日本ポルトガル協会設立の直談判をしに行ったり、ファド倶楽部設立のために走り回ったり、ファドを歌う場を設けて下さり、コンサートの協賛をして下さっていた目次氏をはじめ、私の歌手活動を応援して下さい下さる方々と共に希望に燃えていた日々に、山健さんがポルトガルワイン専門の会社「播磨屋」を設立され、強い味方を得た思いだった。以来ポルトガルワインは、私のファドのライブやコンサートの影の立役者としてなくてはならないものとなった。注文するたびに山健さんの大阪弁を聞くのも楽しみの一つだった。

その後、目次社長が亡くなり、去年は、長年コンサートのスポンサーを担って下さっていたポルトガルビール「サグレス」の輸入元「広島」の広島社長が亡くなり、そして、同志の山健さんまでがこの世を去られるなんて、若かりし頃の私には想像もできなかったことが次々と起こる。世代交代の真っ只中に突入したのかも知れない。失うことがあまりにも多過ぎる。

去年の10月、「三裕の館」でのライブを終えて「歳ですな、情けない姿になってしても、あきまへんわ」とおっしやりながら、奥様に支えられて帰る杖をついた山健さんの辛そうな後姿が頭に焼き付いて離れない。

最近、歳を重ねることの悲しさ、虚しさばかりが感じられてならない。それをほねのけるエネルギーが今の私にはない。ただ思うのは、亡くなられた人々と重ねた日々の結果今の私があり、残されたこの命をたぎらせ生きることが、失われた人たちの恩に報うただ一つのことであるということ。

## ガイアナイト

7月13日の北海道・ニセコ昆布温泉「甘露の森」コンサートは、「ガイアナイト」(北海道洞爺湖サミット道民会議提唱の二酸化炭素削減運動の一環として、電気を消して未来に思いをはせる夜)の趣旨に賛同した主催者「甘露の森」の計らいで、ろうそくに光の中でのコンサートになります。そのため、ご案内のハガキと時間を一時間ずらすことになりました。北海道の大地、羊蹄山の麓でのガイアナイト、想像しただけでも心はずんできます。一人でも多くの人と共有したい時間と空間です。是非、皆様もご参加ください。一人で、自分の部屋でも、時間と地球への想いは共有できるはずです。

\*「ガイアナイト」は、脚本家・倉本聰さんの命名。ガイアはギリシャ神話の大地の女神。闇が半日を覆う本来の地球を認識する夜、という意味が込められています。

# fados canções

## MEU AMIGO ESTÁ LONGE

José Carlos Ary dos Santos  
Alain Oulman

Nem um poema nem um verso nem um canto  
Tudo raso de ausência tudo liso de espanto  
Amiga noiva mãe irmã amante  
Meu amigo está longe  
E a distância é tão grande

Nem um som nem um grito nem um ai  
Tudo calado todos sem mãe e nem pai  
Amiga noiva mãe irmã amante  
Meu amigo está longe  
E a tristeza é tão grande

Ai esta mágoa ai este pranto ai esta dor  
Dor do amor sozinho, o amor maior  
Amiga noiva mãe irmã amante  
Meu amigo está longe  
E a saudade é tão grande

一篇の詩でも 一行の句でも 一節の歌でさえもない  
すべてが不在に満ち 胸の痛みだけが広がる  
友よ 許嫁よ 母よ 妹よ 愛する人よ  
私の友は遠く  
その隔たりは かくも大きい

音、叫び、嗚呼などという声でもない  
すべてが黙し みなしごのように彷徨っている  
友よ 許嫁よ 母よ 妹よ 愛する人よ  
私の友は遠く  
悲しみは かくも大きい

ああこの悲しみ、この嘆き、この痛み  
孤独な愛の痛み、こよない愛の  
友よ 許嫁よ 母よ 妹よ 愛する人よ  
私の友は遠く  
懐かしさは かくも深い

# cartas

——月田秀子宛てにきたお手紙をご紹介させていただいています。励まされる、心揺すぶられる言葉、想いの数々に感謝しつつ——

●ごぶさたして居ります。

会報を拝見する度に、胸が熱くなります。この気持は何なんだろうかと、思います。ファド。今風ではない世界で、自分を見つめ続けている月田秀子という人に、懐かしさを感じてしまう。

歌う人。

語る人。

描く人。

みんな表現者、だと思ふ。けれど、表現者は決してナマの言葉で、本音は語らない。語れない。

会報で、語りかけてくる月田秀子。

ファドを歌っている舞台を思い出しながらその言葉に耳を傾けています。

私の近況を報告したくなりました。

俳人、というわけの分からない日々を送りながら、違うジャンルの友人たちの応援をしています。

人はみな、ナニ事かを訴えたいのですね。

一人では何も出来ない。

けれど、一人にならないと、一人になって考えないと、何も出来ない。

だから、例え方法論が異なっても、必死な人の気持ちは、必死になっている人には分かる、という気がします。

ファド倶楽部会報は、胸キュン であります。

いつかまた逢える日を

いつかまたライブを聴くことのできる日を 楽しみに

(兵庫・K. D雄)

●久しくご無沙汰していましたがところに、思いもかけずDVDを拝受、感激しました。

毎日の生放送に追われていて、こうした叙情の世界を忘れて過ごしていました。

胸を打つ憂愁の音楽に“深化する月田秀子”を感じます。

良き意味で、生きる時間を重ねることの大切さを、あらためて、感じました。

やはり“ファド”は誰でもが歌えるものではないとも感じ入りました。

魂を揺さぶる力というものが、なによりも深い感動を呼ぶのでしょう。

月田さんの唄をつらぬく精神の深さ、豊かさに敬服します。

これからも一層、良き唄を歌い続けてください。

(神奈川・K.T)

●会報、CD、DVD送っていただき、とてもうれしく恐縮しています。ありがとうございました。

私とファドとの出会いは、36年程前になります。アマリア・ロドリゲスの魂の声に感銘を受けたという友人の影響でした。真っ直ぐでありたいと、生き方探しをしていた仙台時代が懐かしいです。

私が、偶然、秀子さんの事を知り、コンサートに出かけたのは、1999年です。道新ホールで初めて生のファドを聞いて、心がゆさぶられ、強い衝撃を受けました。あつい涙が次から次と頬を伝い、深い感動をいただきました。それから2度（ヒルトンホテル小樽、マカオ観光）コンサートに行く機会がありましたが、必ず魂の叫びの前に、涙を流してしまいます。

友人の母が認知症を患い、仕事をしながら、自宅での介護をしていたところ、ちょっと目を離した隙に、穏やかだったのに行方不明になられた。雪の上の足跡から、裏山へ向かったらしいと判断し探しても見つからず、その後吹雪が続く捜索中断、春の雪解け後の捜索でも何も見つからないうままでした。そんな現実のまま時間が過ぎていきます。友の思い、家を探して家を出た友の母の思い、秀子さんのファドの声に走馬灯の様にいろんなことが思われてしまいます。

CDをいただき、ラジオ深夜便にファドを届けてくださったことを知り嬉しく思いました。介護職にあった時、接した高齢者の方達は、それぞれ皆違った深い悲しみを抱えて生きておられました。「何で私だけが」という思いが、まわってばかりいる方もいましたが、宿命として、うけとめ「しかたがないでしょう」と言い切り、耐えるところは耐えて明るく生きてらした方がいました。夜の孤独の時間に、深夜便を聞いておられる方でした。

あと5年といわず、末永くファドを歌い続けていってほしいです。孤軍奮闘の大変さも初めて知ったわけですが、ファドを必要とする人たちの為に歌いつづけ、ファドの心を届けてほしいと思います。

追伸：気持ちと時間の余裕ができれば追っかけやりたいです。夢です。

(札幌・S.M)

# informação

●早いもので、月田秀子ファド倶楽部が結成されて15年になります。関西の会員の方々の呼びかけで、9月23日に結成15周年パーティを予定しています。詳細は後日ご案内申し上げます。

●年末恒例のコンサートは去年に引き続き今年もお休みさせていただきます。来春あたりに開催すべく会場探しをしているところです。その代りに、11月には、大阪から北陸方面、越の国ツアーを、各地の有志のご協力を得て組むことができました。小さなライブ活動を大切に積み重ねてゆきたく思っています。点さえ集まれば、50名ほどのライブをその点をつないで開催してゆくことができるのです。全国各地の皆様のご協力をお願いいたします。

●遠方からのお客様のご要望により、渋谷の「マヌエル」でのライブ開始時間を30分早めて8時からにしました。2回ステージで9時半には終わります。最近、10名前後のさびしいライブが続いています。皆様の足がぼちぼち向きますように…。

●会員の伊川健二氏著「大航海時代の東アジア」(A5判/上製・カバー装/396頁/定価14,700円)が吉川弘文館から出版されました。15から16世紀の日本を取り巻く国際関係を日本、ポルトガル、イタリア、インド、韓国などアジアとヨーロッパ各地の資料を縦横に駆使して、壮大な規模で包括的に考察した意欲作です。

## ＜月田秀子のスケジュール＞

7月	7日(月)	東京・渋谷「マヌエル」 *要予約 開場：18:00 ①20:00 ②21:00 (各ステージ30分)	予約・問合せ：tel/03-5738-0125 ライブチャージ：2,500円 (入れ替えなし)
	8日(火)	東京・四谷「マヌエル」 *要予約	予約・問合せ：tel/03-5276-2432
	9日(水)	「NOITE DE SAUDADE Vol.57」 開場：18:00 ①20:30 ②21:30 ③22:30	(各ステージ20分) ライブチャージ：2,500円 (入れ替えなし)
	13日(日)	北海道・ニセコ昆布温泉「甘露の森・ディナーショー」 ディナー：19:00～ コンサート：20:00～	予約・問合せ：tel/0136-58-3800 お一人様：10,000円 (ご宿泊はプラス7,000円) (ホテル甘露の森)
	16日(水)	埼玉・浦和「嬉族in」*要予約 開場：18:30 開演：19:30 (2ステージ)	予約・問合せ：tel/048-833-7128 (夜間のみ) 料金：6,000円 (食事・ドリンク付)
	18日(金)	大阪・南方「三裕の館」*要予約 ステージ：①20:00 ②21:00 料金：5,000円	予約・問合せ：tel/06-6304-1745 (オードブル・ワイン付)
	19日(土)	神戸・三宮「サロン・ド・あいり」 *要予約 開場：18:00 開演：19:00	予約・問合せ：tel/078-241-1898 料金：5,000円 (料理・ドリンク付)
	20日(日)	大阪・大正「アゼリアホール」 開場：14:30 開演：15:00	予約・問合せ：06-6552-7053 (昼間) 06-6552-3820 (夜間) チケット：3,500円 (前売り) 3,800円 (当日) ドリンク付
	21日(日)	名古屋・新栄「美雅 (みやび)」 *要予約 開場：15:30 開演：16:00	予約・問合せ：tel/052-896-4561 料金：3,000円 (ワンドリンク付) (名古屋ファドクラブ)
	26日(土)	東京・恵比寿「カーザ・デ・ケージョ」 *要予約 開場：18:30 開演：19:00	予約・問合せ：tel/03-3473-5525 会費：5,000円 (ドリンク・チーズ付)
8月	4日(月)	東京・渋谷「マヌエル」 *要予約 開場：18:00 ①20:00 ②21:00 (各ステージ30分)	予約・問合せ：tel/03-5738-0125 ライブチャージ：2,500円 (入れ替えなし)
	5日(火)	東京・四谷「マヌエル」 *要予約	予約・問合せ：tel/03-5276-2432
	6日(水)	「NOITE DE SAUDADE Vol.58」 開場：18:00 ①20:30 ②21:30 ③22:30 (各ステージ20分)	ライブチャージ：2,500円 (入れ替えなし)
9月	1日(月)	東京・渋谷「マヌエル」 *要予約 開場：18:00 ①20:00 ②21:00 (各ステージ30分)	予約・問合せ：tel/03-5738-0125 ライブチャージ：2,500円 (入れ替えなし)
	2日(火)	東京・四谷「マヌエル」 *要予約	予約・問合せ：tel/03-5276-2432
	3日(水)	「NOITE DE SAUDADE Vol.59」 (各ステージ20分) 開場：18:00 ①20:30 ②21:30 ③22:30	ライブチャージ：2,500円 (入れ替えなし)
	7日(日)	神奈川・海老名「海老名市文化会館小ホール」 開場：13:30 開演：14:00 (アンデルセン文化事業部)	予約・問合せ：tel/045-788-8782 チケット：3,000円 (前売り) 3,500円 (当日) 全席自由
	20日(土)	愛媛・松山「テレビ愛媛ビビットホール」 開場：18:30 開演：19:00	予約・問合せ：089-941-8118 (SUN) チケット：4,000円 (前売り) 4,500円 (当日)
	21日(日)	香川・高松「ポルトガル陶器リスボン」	予約・問合せ：087-811-9511
	22日(月)	徳島「night & day」徳島日本ポルトガル協会主催 ①19:30～ ②20:30～	予約・問合せ：03-3776-6738 (入れ替えなし) (ワンドリンク付) 料金：4,000円
	23日(火・祝)	大阪・西天満「チルコロ」 「月田秀子ファド倶楽部結成15周年記念パーティ」	
	24日(水)	宮城・仙台 詳細未定	
	26日(土)	東京・恵比寿「カーザ・デ・ケージョ」*要予約 開場：18:30 開演：19:00	予約・問合せ：tel/03-3473-5525 会費：5,000円 (ドリンク・チーズ付)

### ＜編集後記＞

20年ぶりにジョギングを始めた。首都高と第一京浜にはさまれた都会のオアシス。噴き出す汗が気持ちよい。今年の夏は涙の代わりにいい汗を流せますように。9月、11月は思い切りライブを組ませていただきました。皆様のお越しを切にお待ちしています。

月田秀子ファド倶楽部ホームページ  
http://www.fado.jp/

- 月田秀子ファド倶楽部ジャーナル 第55号
- 2008年7月7日発行 (季刊：年4回発行)
- 編集・発行 「月田秀子ファド倶楽部」事務局
- 〒140-0014 東京都品川区大井7-14-2-301
- TEL&FAX 03-3776-6238